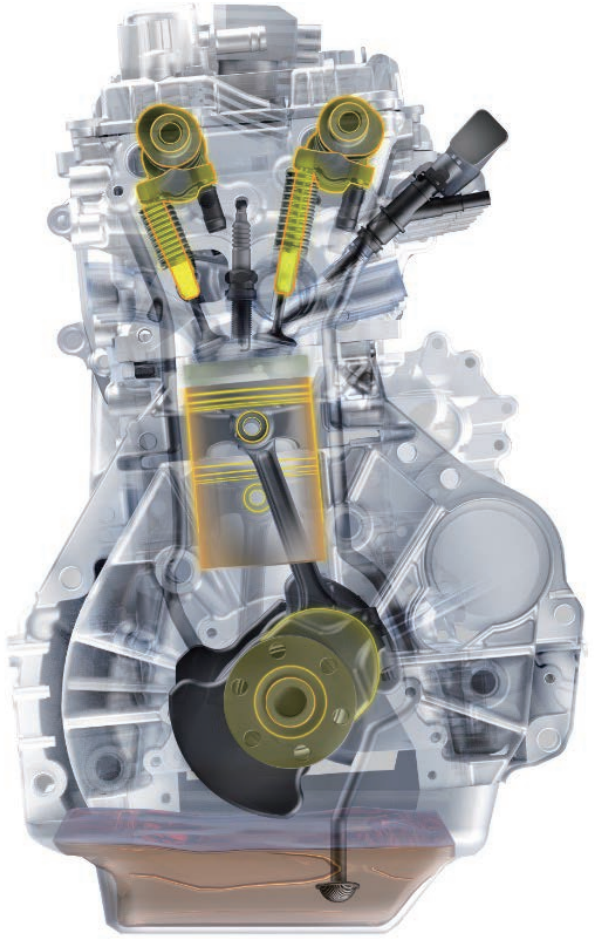
パーフェクトメタルトリートメント

MT-10 NEXT

（エムティーテン･ネクスト）

ご提案書



CENTRAL 中央自動車工業

はじめに

マーケットの変化に合わせて進化し続けてきたMT-10シリーズは、

皆様のお陰で、多数のユーザー様に愛される商品として成長してきました。



2000年発売

初代 MT-10

車の走行性能が
高まるとともに使用年数が長期化。
エンジンを守るため「極圧性能」を
持つ添加剤として開発。



2010年発売

MT-10スーペリア

使用年数の長期化に
加えて省エネ・省燃費ニーズが拡大。
「極圧性能」を高めながら、省燃費
オイルに最適な品質に進化。



2016年発売

MT-10エフィ

HV車が台頭。
ON.OFFを繰り返すエンジンを守るため、
「低摩擦性能」を高め、低油温時
でも優れた保護効果を発揮。

発売以来、シリーズ累計 1400万本達成

近年、燃費重視のためにエンジンオイルの低粘度化が加速。
様々な運転条件下においても優れた効果を発揮する新製品の開発へ。

HV車の低油温時には「低摩擦性能」が必要で、高負荷時（高速時、加速時など油膜がとぼしい状態の時）には
「極圧性能」が適切。オイルの低粘度化により「エンジンを守る」機能がますます重要になる中、目指すべきは…

「低摩擦性能」と「極圧性能」の、極めて高いレベルでの両立



MT-10シリーズ史上最高レベルの「低摩擦性能」と「極圧性能」を発揮するメタルトリートメントを開発

それが MT-10 NEXT です。

（エムティーテン・ネクスト）

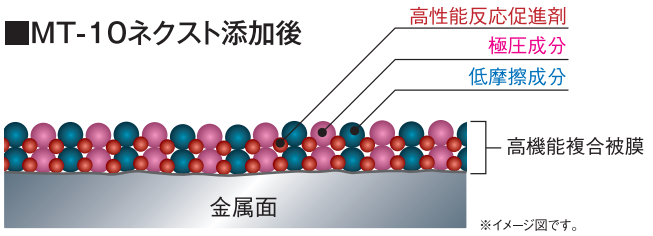
新配合の【高性能反応促進剤】の効果により、
金属表面に極圧成分と低摩擦成分が均一かつ高密度に共存させる
高機能複合被膜を形成。
MT-10シリーズ史上、最高レベルでの極圧性能と低摩擦性能を実現します。

■MT-10ネクスト添加前



エンジン内部の金属表面には超微細な凹凸が存在します。

■MT-10ネクスト添加後



MT-10ネクスト添加後は金属表面を滑らかに改質します。その上で高性能反応促進剤などの成分により、極圧成分と低摩擦成分が高いレベルで共存する、高機能複合被膜を金属表面に形成します。

商品特長②

保護被膜の役割

①極圧成分	●極圧性能に優れた数種類の「金属成分を含まない無灰系極圧成分」を配合することで、高い保護性能を実現しています。ドライスタート時や高油温・高負荷時のシビアコンディション下においても、エンジン内部の金属表面を焼き付きや摩耗から強固に保護します。
②低摩擦成分	●極圧成分とのマッチングを図りながら、優れた低摩擦性能を発揮するモリブデン化合物等の複数種成分を配合しました。ハイブリッド車に多く見られる低油温が持続する状況下でも摩擦低減効果が得られます。
③高性能反応促進剤	●極圧成分、及び低摩擦成分との化学反応を促進し、均一かつ高密度の被膜を金属表面に形成します。従来は両立が難しかった極圧性能と低摩擦性能を、高次元で実現しました。また、この成分自身も極圧性能を有します。

●累計で100km程度走行していただくことで、金属表面の改質が完了します。 ●オイル交換は、本製品注入後100km以上走行した後に行ってください。

■クリーンディーゼル車にも対応

無灰系極圧成分の採用と、高性能反応促進剤の効果により、硫酸灰分を最小限とすることでクリーンディーゼル車への対応も可能にしました。

MT-10ネクストの効果

ドライスタート時、急発進・急加速時、ハイブリッド車等の低油温時など、
様々な運転状況に応じて、それぞれ最適な被膜が機能。
あらゆる領域で高い保護力を発揮し、エンジンを強力に守ります。

- レスポンスの向上
- エンジン音や振動の減少
- 20,000㎞走行の長期間の持続性
- エンジンの耐久性向上

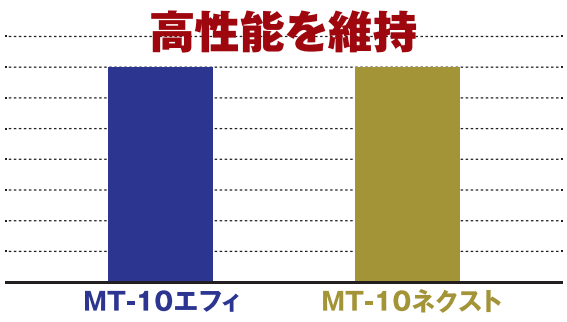
MT-10エフィとの比較

MT-10ネクストは、MT-10エフィの優れた低摩擦性能はそのままに、極圧性能を飛躍的に向上させ、あらゆる運転環境の中でエンジンを守ります。

MT-10エフィと比較しての保護性能試験結果

《低摩擦性能試験》

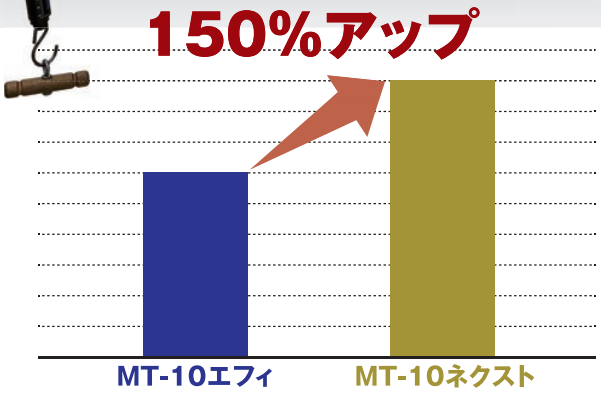




回転数試験機による低摩擦性能検証／回転数では、MT-10エフィとほぼ同数の回転数となり、MT-10ネクストも優れた低摩擦性能を発揮することを確認しています。

《極圧性能試験》





チムケン試験機による極圧性能検証／極圧荷重では、MT-10ネクストは、MT-10エフィの約1.5倍の荷重に耐えることができ、MT-10ネクストは極圧性能が飛躍的に向上していることを確認しています。

品質･性能を確認する各種評価試験に加え、エンジンオイルとの適合性検証を実施。これにより、MT-10シリーズは安心してご使用いただける製品となっています。

●エンジンオイルとの適合検査

エンジンオイルとの適合性については、各種純正オイルの適合確認と、実際に新車に充填されているエンジンオイルでの検証を行うなど、MT-10シリーズとの適合性を確認しています。

品質

【確かな性能･持続性】

■摩擦･摩耗低減効果の確認

①極圧性能　⇒ シェル四球試験(荷重/摩耗)【ASTM D2783/D4172】、チムケン試験(荷重/摩耗)
②低摩擦性能　⇒ MTM試験(PCS Instruments)
回転数試験機(エイスインターナショナル(株)製)
③振動･騒音測定　⇒ Gメーター及び騒音計による測定。

■エンジンオイルに悪影響を与えない事を検証

①高速走行試験　⇒ 東北自動車道での高速走行試験
120km/h走行テストを実施
②低温環境実走試験　⇒ −15℃の低温環境下でのエンジンの始動･停止を繰り返し実施
③酸化防止性　⇒ ISOT試験：JIS K2514
④清浄分散性　⇒ 実走後のTBN残存を確認
⑤オイル混和性　⇒ ゲル化や沈殿物がないことを確認
⑥消泡性　⇒ 泡立ち試験：JIS K2518
⑦耐水分離性　⇒ 乳化試験：JIS K2520

■効果の持続性を検証

20,000㎞走行での効果持続性を実走検証
ネクスト使用後3回オイル交換でのオイル中の金属摩耗量を確認

安全性

【人(環境)に優しい】

■労働安全衛生法、消防法等の法令に則った、人と環境に優しい製品です

①労働安全衛生法　⇒ 特定化学物質障害予防規則(特化則)に非該当
②その他法令　⇒ PRTR法、毒物及び劇物取締法に非該当
③消防法　⇒ 危険物 第四類第三石油類 危険等級Ⅲ

※常に最新の安全データシート(SDS)をホームページより提供しています

【クルマに優しい】

■エンジン部材や排ガス処理装置に悪影響を与えない事を検証

①ゴムシール材への影響を確認
⇒ゴム材適合性試験：JIS K6258

②金属への耐腐食性を確認
⇒銅板腐食試験：JIS K2513

③耐高温スラッジ性を確認
⇒ホットチューブ代替試験
高温スラッジ洗浄性を検証

④排ガス処理装置の耐被毒性を確認
⇒API規格で定められた基準に適合していることを確認